



おぐら
尾倉

<校訓>
自主
創造
協力



令和3年11月5日(金)発行
校長 栗原博巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>

豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなで作る尾倉中学校～

<目指す生徒像>

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
 - ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
 - ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

大会を通じて本当に大きく成長したと思います。競技ですから順位はつきましたが、このパワーを勉強や文化発表会、入試へとつなげていってほしいと思います。

1・2年生は凄いエネルギーをもっています。来年はあなたたちが中心となって、新しい尾倉中体育大会を創り上げていかなければいけません。今年の3年生に負けない発想とパワーで頑張りたいと思います。

それぞれの種目は接戦でした。競技を通して、クラスの和を高めることができました。挙げればキリがないほどにたくさんの感動をもらいました。みんな本当に頑張りました!!尾倉中学生全員にMVPを贈りたいと思います。

最後になりますが、応援に駆けつけていただいた保護者の皆さま、朝早くから検温等のお手伝いをしていただいたPTA役員の皆さまに感謝いたします。ありがとうございました。(ご挨拶に行けず、申し訳ございませんでした)

体育大会 OGLYMPIC2021 を終えて①

令和3年度体育大会が終わりました。昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小しての開催でした。みなさんのパワーが雨雲を吹き飛ばしたのでしょうか、10月で一番の快晴となり全競技無事に終わることができました。「限界突破」のスローガンの下、生徒のみなさん、体育大会はどうでしたか。競技で頑張った人、係活動で頑張った人、いずれにせよ、全員真剣に体育大会に参加することができたと思います。体育の時間を中心に練習に取り組んできました。

走競技では、一人一人が自分にできる精一杯の力で、競技に取り組む姿が見られました。学級全員リレーでは、みんなの一生懸命走る姿に感動。前日までの練習ではこけたり、バトンミスをしたりと、慌ててしまってたくさんのミスをしてしまいましたが、本番ではほとんどミスがありませんでしたね。(本部席前でちょっと危ない場面はありましたが)バトン渡しの時、渡す人渡される人がお互いを『信頼』しているのが伝わってきました。全員が全力を出し切ったこと、そして走るのが得意な人も苦手な人も生き生きと精一杯走ることができる、そんなあたたかい尾倉中の雰囲気が伝わってきました。特に、アンカーの人はそれぞれ差が開いていたにもかかわらず、全力疾走でバトンをゴールへと運びました。本当によく頑張りました。学年種目(大縄跳び・ダンス)も全員が力を出し切りました。練習ではなかなかうまくいかなかったクラスも本番は今までの一番の力が出せたと思います。学年種目はお互いの協力と信頼が大切です。その意味で、どのクラスも頑張っていましたし、また、クラスの課題も見つかったと思います。その課題はこれから克服していけばいいのです。頑張らしましょう。

行事で成長することはとても大切です。こんなに多くの行事があるのは、中学校だけです。普段の授業を大切にしながら、学級・学年の力をつけていき、大きな行事で発揮しましょう。

ただ、新型コロナウイルス感染症の影響で練習時間が制限される中、体育大会が成功するかどうか先生も少し不安でした。でも、北九州で一番の体育大会だと確信できたのは3年生の全員リレーと全校生徒のダンスそして他の学年が競技しているときのスタンドの応援でした。(例えば、3年生が演技をしているときに、スタンドの1・2年生も大きな声援を送っていました。)

スポーツは、結果や勝敗ばかりに目がいきがちです。しかし、尾倉中の生徒の態度からは、『結果だけでなくその過程を大切にしていきたい』という気持ちが伝わってきました。3年生はこの体育

